

Title	日本古代・中世前期における仏教儀礼の史的研究
Sub Title	A historical study of Buddhist rituals in ancient and early medieval Japan
Author	藤本, 誠(Fujimoto, Makoto)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>本研究課題の3年目である本年度は、十世紀以降の仏教説話集の読解を中心に研究を進めたほか、仏教説話集の舞台となった伏見稻荷大社・六波羅蜜寺・清水寺及び古代中世移行期に成立した迎講が行われる当麻寺、さらに古代地域仏教と関わる中尊寺・毛越寺など寺社の実地調査を行い多くの知見を得た。</p> <p>また『日本霊異記』と『東大寺諷誦文稿』についての考察をそれぞれ深め、両者の成立の背景と関わる仏教的世界観についての検討を行った。『日本霊異記』については、早稲田大学国際シンポジウムにて報告を行った。そこでは、①『日本霊異記』説話の原資料についての史料性について「郡領関係化牛説話」と戒律関係説話を素材として考察を加え、説話成立には地域社会の仏教儀礼と深く結びついていたこと、②『日本霊異記』の編纂論について、景戒による『日本霊異記』の執筆とは、景戒にとって、仏の言葉を記すことによる衆生の教化という宗教実践であり、それは景戒の認識としては原資料の性格にも及んでいた可能性があったことを指摘した。『東大寺諷誦文稿』については、三田古代史研究会・上代文献を読む会にて報告し、①法会の場が仏の化現し、仏の説法が再現される場とする観念の存在、②この世界を盧舎那仏身そのものであり、全てのものが仏の形のかえたものであり、六道もその中に含まれるという観念の存在を指摘した。以上の二史料から析出した仏教的世界観は、古代中世移行期に成立する迎講などの仏教芸能の世界観に系譜上繋がるものと推測される。</p> <p>その他、九世紀代の仏教儀礼と関わる熊本県浄水寺・池辺寺を踏査し、地方寺院の宗教的環境についての理解を深めた。</p> <p>以上のように、今年度は九世紀から十世紀以降までを視野にいれた仏教儀礼とその世界観についての検討を進めることができた。今後はこれまでの研究を深めるとともに、更に時代幅を広げて考察を深めていく予定である。</p> <p>This year, the third year of this research project, I mainly conducted research on two subjects. First, I focused on reading the Buddhist narratives since the 10th century. Second, We examined the Buddhist worldviews found in historical materials "Todaiji fujumonkou (『東大寺諷誦文稿』)" and "Nihon ryoi ki (『日本霊異記』)". As a result, the place of the Buddhist ceremonies is a place where the preaching by the Buddha is reproduced, and it became clear that "Nihon ryoi ki (『日本霊異記』)" was edited by the religious practice of collecting the words of the Buddha told by the Buddhist ceremonies. The research results of these achievements were reported at academic conferences and study groups.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180225

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	助教	補助額	200 (B) 千円
	氏名	藤本 誠	氏名 (英語)	Makoto Fujimoto		
研究課題 (日本語)						
日本古代・中世前期における仏教儀礼の史的研究						
研究課題 (英訳)						
A historical study of Buddhist rituals in ancient and early medieval Japan						
1. 研究成果実績の概要						
<p>本研究課題の3年目である本年度は、十世紀以降の仏教説話集の読解を中心に研究を進めたほか、仏教説話集の舞台となった伏見稲荷大社・六波羅蜜寺・清水寺及び古代中世移行期に成立した迎講が行われる当麻寺、さらに古代地域仏教と関わる中尊寺・毛越寺など寺社の実地調査を行い多くの知見を得た。</p> <p>また『日本霊異記』と『東大寺諷誦文稿』についての考察をそれぞれ深め、両者の成立の背景と関わる仏教的世界観についての検討を行った。『日本霊異記』については、早稲田大学国際シンポジウムにて報告を行った。そこでは、①『日本霊異記』説話の原資料についての史料性について「郡領関係化牛説話」と戒律関係説話を素材として考察を加え、説話成立には地域社会の仏教儀礼と深く結びついていたこと、②『日本霊異記』の編纂論について、景戒による『日本霊異記』の執筆とは、景戒にとつて、仏の言葉を記すことによる衆生の教化という宗教実践であり、それは景戒の認識としては原資料の性格にも及んでいた可能性があったことを指摘した。『東大寺諷誦文稿』については、三田古代史研究会・上代文献を読む会にて報告し、①法会場の仏の化現し、仏の説法が再現される場とする観念の存在、②この世界を盧舎那仏身そのものであり、全てのものが仏の形のかえたものであり、六道もその中に含まれるという観念の存在を指摘した。以上の二史料から析出した仏教的世界観は、古代中世移行期に成立する迎講などの仏教芸能の世界観に系譜上繋がるものと推測される。</p> <p>その他、九世紀代の仏教儀礼と関わる熊本県浄水寺・池辺寺を踏査し、地方寺院の宗教的環境についての理解を深めた。</p> <p>以上のように、今年度は九世紀から十世紀以降までを視野にいれた仏教儀礼とその世界観についての検討を進めることができた。今後はこれまでの研究を深めるとともに、更に時代幅を広げて考察を深めていく予定である。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>This year, the third year of this research project, I mainly conducted research on two subjects. First, I focused on reading the Buddhist narratives since the 10th century. Second, We examined the Buddhist worldviews found in historical materials "Todajji fuju monnkou (『東大寺諷誦文稿』)" and "Nihon ryoi ki (『日本霊異記』)". As a result, the place of the Buddhist ceremonies is a place where the preaching by the Buddha is reproduced, and it became clear that "Nihon ryoi ki (『日本霊異記』)" was edited by the religious practice of collecting the words of the Buddha told by the Buddhist ceremonies. The research results of these achievements were reported at academic conferences and study groups.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
藤本誠	『日本霊異記』の史料性をめぐる諸問題—近年の日本古代史研究・上代文学研究の状況を踏まえて—	早稲田大学国際シンポジウム「古代史料に見る歴史と文学」	2019年1月			
藤本誠	『東大寺諷誦文稿』の史料性についての一試論	三田古代史研究会	2019年3月			
藤本誠	古代「白堂」考	『水門』第28号	2018年4月			
藤本誠	〔書評〕竹内亮著『日本古代の寺院と社会』	『ヒストリア』第271号	2018年12月			
藤本誠	〔書評〕佐藤文子著『日本古代の政治と仏教』	『日本歴史』第850号	2019年3月			
藤本誠	『東大寺諷誦文稿』の仏教的世界観についての一考察	上代文献を読む会	2019年3月			